記者発表資料

令和６年８月 20 日
（一財）3.11 伝承ロード推進機構

「3.11 伝承ロード New Destination プラン」における 地域活性化フォーラム in 気仙沼 開催のお知らせ

当機構では、(一財)国土計画協会の支援を得て、令和４年度より「3.11 伝承ロード New Destination プラン」を実施中です。本事業は、東日本大震災からの 10 年を契機に、新たな復興ステージのアクションとして「三陸沿岸道路（＝青森県八戸市から宮城県仙台市までを結ぶ全 359km の高規格道路）を活用して、各地の観光コンテンツと震災伝承施設を融合させ、三陸沿岸地域の新たな交流人口創出に向けた未来志向の地域活性化を図る」ものです。

つきましては、令和６年度に３年目の最終年として、これまで実施したモニターツアーや検討会での議論を踏まえ、復興した新しい三陸沿岸地域の魅力について議論する場としてフォーラムを下記のとおり開催しますのでご連絡申し上げます。

申し込みは当機構のウェブサイトより受付いたします。https://www.311densho.or.jp/

地域活性化フォーラム in 気仙沼

三陸の新しい魅力

～震災伝承施設と三陸沿岸道路の魅力と役割について～

１．日　時：令和６年９月１１日（水）１３時 30 分～15 時 30 分

２．場　所：気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館　体験交流ホール
住所：宮城県気仙沼市波路上瀬向 9-1　TEL：0226-28-9671

３．内容等：

１）基調講演「未来に役立つ災害伝承のための三陸沿岸道路の役割」
講　師：　東北大学災害科学国際研究所 教授　　奥村　　誠　氏

２）パネルディスカッション「女性が語る三陸の新しい魅力」

コーディネーター：	石巻専修大学 教授	庄子　真岐　氏
パネリスト：	気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館	福岡　麻子　氏
	南三陸ホテル観洋　女将	阿部　憲子　氏
	近畿日本ツーリスト（株）仙台支店	豊島　恵美子　氏
	（株）日本旅行東北　仙台支店	橘　えりか　氏
アドバイザー：	（一財）3.11 伝承ロード推進機構	原田　吉信　氏

〈発表記者会〉宮城県政記者クラブ、東北電力記者会、建設専門紙

【お問い合わせ先】
一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構　原田、石森
TEL：０２２-３９３-４２６１　E-mail：info@311densho.or.jp

教訓が、いのちを救う。
3.11 DENSHO ROAD

地域活性化フォーラム in 気仙沼
三陸の新しい魅力
震災伝承施設と三陸沿岸道路の魅力と役割について

9月11日 2024年 水

参加無料　**定員100名**

13：30～15：30（開場13：00）
気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館
体験交流ホール（宮城県気仙沼市浜路上瀬向9-1）

当機構では、三陸沿岸道路や震災伝承施設を活用し、新たな交流人口を呼び込む取り組みを進めています。このフォーラムでは、これまで実施したモニターツアーや検討会での意見をもとに、三陸沿岸地域の魅力を皆さんと一緒に考えます。ぜひご参加ください。

基調講演

未来に役立つ災害伝承のための三陸沿岸道路の役割

講師　奥村 誠 氏　東北大学災害科学国際研究所 教授

京都市出身。京都大学大学院工学研究科修士課程修了。同大学助手，講師，広島大学助教授を経て，2006年より東北大学教授。地域計画・土木計画を専門とし、ブラジル，シベリア，ボリビアでのプロジェクトにも関わる。博士（工学）。

パネルディスカッション

女性が語る三陸の新しい魅力
～震災伝承施設と三陸沿岸道路の魅力と役割について～

コーディネーター
石巻専修大学　教授
庄子 真岐 氏

パネリスト
気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館
福岡 麻子 氏

パネリスト
南三陸ホテル観洋 女将
阿部 憲子 氏

パネリスト
近畿日本ツーリスト（株）仙台支店
豊島 恵美子 氏

パネリスト
（株）日本旅行東北 仙台支店
橘 えりか 氏

アドバイザー
（一財）3.11伝承ロード推進機構
原田 吉信 氏

申し込み・お問合せ（一財）3.11伝承ロード推進機構
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-2-26 コンヤスビル3F
TEL：022-393-4261　月～金 9：00～17：30（祝日を除く）

お申し込みページはこちら ▶
お申し込みは右側のQRコード、または
3.11伝承ロード推進機構ウェブサイトからどうぞ
https://www.311densho.or.jp/　3.11伝承ロード推進機構

主催：一般財団法人３．１１伝承ロード推進機構
後援：気仙沼市、南三陸町、石巻市、東松島市、震災伝承ネットワーク協議会、国土交通省東北地方整備局, 宮城県、岩手県

（一財）国土計画協会が主催する「高速道路利用・観光・地域連携促進プラン」の支援金を活用しています